

科目名		建築施工			
担当教員		仁多見 透		実務授業の有無	○
対象学科	建築士学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方		鉄骨造、建築仕上げ工事を中心にその基礎知識を学ぶ。 建築の施工管理における基礎知識を習得することを目的としている。 テキストに沿って授業を進める。一般構造と建築材料と重複する部分が多いので整合性が持てるように指導していく。			
学習目標 (到達目標)		2級建築士の建築施工科目の基礎知識を習得する。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		やさしい建築施工 (学芸出版)			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	【鉄骨工事】 ・工場作業 (加工・組立・溶接・塗装) ・現場作業 (建て方・高力ボルト・耐火被覆)			学習方法：講義形式とする。 準備学習：P 96～P 105を自宅学習として予習する。 備考：一般構造と建築材料と重複する部分も含め学習する。	
2	【コンクリートブロック工事】 ・材料 ・補強コンクリートブロック造 ・コンクリートブロック帳壁 ・ブロック塀			学習方法：講義形式とする。 準備学習：P 106～P 109を自宅学習として予習する。 備考：一般構造と建築材料と重複する部分も含め学習する。	
3	【木工事】 ・木造在来軸組工法 (材料・継手・仕口・耐力壁) ・枠組壁工法			学習方法：講義形式とする。 準備学習：P 110～P 125を自宅学習として予習する。 備考：一般構造と建築材料と重複する部分も含め学習する。	
4	【防水工事】 ・メンブレン防水 ・シーリング			学習方法：講義形式とする。 準備学習：P 126～P 131を自宅学習として予習する。 備考：一般構造と建築材料と重複する部分も含め学習する。	
5	【屋根工事】 ・下葺き材 ・樋工事 ・屋根葺き材			学習方法：講義形式とする。 準備学習：P 132～P 137を自宅学習として予習する。 備考：一般構造と建築材料と重複する部分も含め学習する。	
6	【左官工事・タイル工事・石工事・塗装工事】 ・材料 ・下地 ・仕上げ			学習方法：講義形式とする。 準備学習：P 138～P 153を自宅学習として予習する。 備考：建築施工と建築材料と重複する部分も含め学習する。	
7	【建具工事・ガラス工事・内装断熱工事】 ・種類 管理法 ・工法 ・留意事項			学習方法：講義形式とする。 準備学習：P 154～P 166を自宅学習として予習する。 備考：一般構造と建築材料と重複する部分も含め学習する。	
8	【ユニットその他工事・外装工事】 ・留意事項			学習方法：講義形式とする。 準備学習：P 167～P 170を自宅学習として予習する。 備考：一般構造と建築材料と重複する部分も含め学習する。	
9	【設備工事・施工機械】 ・電気設備 ・給排水衛生設備 ・空調設備 ・防火設備 ・ガス設備			学習方法：講義形式とする。 準備学習：P 171～P 183を自宅学習として予習する。 備考：一般構造と建築材料と重複する部分も含め学習する。	
10	No. 1 (小テスト) No. 2～No. 4 (小テスト) No. 5～No. 9 (小テスト)			2級建築士試験に準ずる内容で習熟度を確認する。	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
評価テスト					
100 %	%	%	%	%	建築施工は建築士試験の主要科目である。 又、施工管理を目指す学生はしっかりと基礎知識を習得してほしい。
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		建築施工管理技術者として16年勤務			